

三浦半島地区の緑肥栽培事例紹介

令和5年3月 三浦半島農業改良推進協議会

【マリーゴールド‘エバーグリーン’】

	マリーゴールド‘エバーグリーン’とダイコンの作付け時期															エバーグリーンの栽培・管理のポイント												
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			条間	10a当たり播種量	土寄せ	刈払いの方法	耕うん、ダイコンの施肥時期		
	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬	下旬	中旬	下旬					1回目すき込み・耕うん	2回目耕うん	3回目耕うん
事例A	●																					50cm	350g	1回	フレールモア	刈払い3日後すき込み	8月上旬	播種3日前に施肥・耕耘
事例B	●																					50cm	350g	1回	フレールモア	刈払い3日後すき込み	8月中旬	播種3日前に施肥・耕耘
事例C		●																				50cm	350g	1回	フレールモア	刈払い3日後すき込み	9月上旬	播種3日前に施肥・耕耘
事例D		●			▲	▲																45~48cm	400g	2回	フレールモア	刈払い翌日に有機質肥料施肥	8月中旬	播種前日に耕うん・整地
事例E		●			▲																	50cm	300g	1回	ハンマーナイフモア	刈払い10日後に有機質肥料施肥	8月下旬	播種前日に耕うん・整地
事例F			●																			50cm	350g	1回	フレールモア	刈払い3日後すき込み	9月上旬	播種3日前に施肥・耕耘

凡例 ●:エバーグリーンは種 ▲:土寄せ ■:刈払い ○:ダイコンは種



「ごんべえ」で直播き



除草・土寄せ



事例D 6月上旬



事例D 6月中旬



事例D 7月下旬



フレールモアで



ハンマーナイフモアで



事例D 8月中旬

【栽培者の声】

- ・‘エバーグリーン’は5月下旬までに播種すれば、よく生育して圃場全体が覆われた。
- ・すき込み後、土壌消毒せずにダイコンを栽培したがセンチュウの被害はなかった。
- ・D-D剤で消毒すると、薬剤費も高いし消毒の労力がかかなり必要で大変だった。
- ・‘エバーグリーン’は種子代がD-D剤の薬剤費より安く、「ごんべえ」を使えば播種作業が楽だった。
- ・後作がキャベツの畑でも栽培したが問題なかった。

【注意事項】

- ・前作キャベツで、基肥・追肥は無施肥、「ごんべえ」で直播した。
- ・キャベツの残渣が少し残っていても生育に影響ない。
- ・ダイコンの施肥量は通常量で生育に影響がなかった。
- ・マリーゴールドは雑草の多い圃場には適さない。

【ライムギ】

	ライムギ栽培・管理のポイント																				
	5月			6月			7月			8月			9月			前作	施肥	播種	すき込みと耕うん、後作キャベツの施肥		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	すき込み時に有機質肥料施肥	雑草が多い時は耕うん				定植前に耕うん・整地		
事例G	●															キャベツ	無	散粒機で全面播種	すき込み時に有機質肥料施肥	雑草が多い時は耕うん	定植前に耕うん・整地

凡例 ●:ライムギは種 ▼:枯れ初め ■:すき込み ◇:キャベツ定植



5月中旬



6月下旬



7月上旬



7月中旬



8月中旬

【栽培者の声】

- ・雨が降ると土壌が硬くなってしまいう圃場があった。そこで緑肥を栽培したところ土壌が柔らかくなった。
- ・堆肥を施用するには労力がかかるうえ入手も難しく、このところ何年も施用できていなかった。緑肥を栽培することで有機物の投入ができてよかった。

【注意事項】

- ・覆土をロータリーで行う場合はカタログより2割ほど多く播くとよい。
- ・すき込みはロータリーで行う。
- ・枯れて乾燥するとロータリーに絡みやすいので早めに耕うん。
- ・センチュウが増える場合があるため、ダイコン栽培をする場合はD-D剤等で土壌消毒する。

三浦半島では、畑の土づくりのために家畜ふん堆肥など有機物を積極的に畑に投入してきましたが、労働力の減少などにより、有機物が長期間投入されていない畑が増えています。

特産野菜の安定生産には、定期的に有機物を畑に投入し、地力を維持することが欠かせませんが、畜産農家の減少もあり家畜ふん堆肥の確保も難しくなっていますので、ここで紹介した緑肥作物を栽培して有機物を積極的に補給しましょう。

特に、客土※した畑では有機物が少ないことから、土づくりが不可欠です。

また、マリーゴールドはダイコンのカタネグサレセンチュウ対策に有効であり、緑肥作物は夏季休閑畑の土壌流亡や雑草抑制に効果がありますので、積極的に作付けの一部に組み込んで地力維持を図りましょう。

※畑の客土は農地法に基づく手続きが必要です。事前に農業委員会へご相談ください。



休閑畑は豪雨で土壌が流亡しやすい



ライムギ 緑肥作物で土壌流亡を防止できる



エバーグリーン

詳しくは神奈川県農業技術センター三浦半島地区事務所まで